



鳥取県立倉吉東高校同窓会

# 関西鴨水会会報

第 7 号

発行人 山本康夫

## 関西鴨水会会員の皆様へ：関西鴨水会会長 山本康夫

本年も関西鴨水会総会・懇親会を盛大に開催することができました。

皆様のご協力とご尽力に深く感謝申し上げます。当日の様子を記した本会報をお届けいたします。ご一読いただければ幸いです。

さて、昨年秋からの郵便料金の値上げもあり、コスト削減を目的として今回の総会のご案内は、メールアドレスをお持ちの会員 48 名(会員の 32%)の皆様へはメールで送信しました。初の試みでしたが大きな混乱もなく、事務作業の省力化にもつながりました。来年もメールによるご案内を併用してまいりますので、何卒、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

今回の新入会員のご出席は1名でした。会員数は高齢化(会員の 66%が 70 歳以上)と若年同窓生の加入減少により漸減しており、現在の会員数は 152 名となっております。関西に在住する倉吉東高同窓生の懇親の場として当会を盛り上げていくためには、会員の増大が喫緊の課題です。そのためには会員の皆様から頂戴する情報が極めて重要です。ご家族・ご親戚・ご友人のお子様やお孫様等の関西在住情報がありましたら、ぜひご連絡ください。来年は本年以上の参加者で会を盛り上げたいと祈念いたしております。

時節柄くれぐれもご自愛の程お祈り申し上げます。



## ◆今年度関西鴨水会総会・懇親会の概要

関西鴨水会総会・懇親会が 6 月 22 日(日)、大阪市中心部・道頓堀ホテルにおいて開催され、来賓と会員とで合わせて 47 人が出席しました。その概要を以下にご報告します。

総会に先立って、「荒尾駿河 - 墓碑の発見をきっかけに知った鳥取藩の戊辰戦争 -」と題して、三朝温泉病院外科診療部長で鳥取歴史振興会会員でもある浜崎尚文さん(昭 51)よりご講演がありました。幕末に鳥取藩の家老を務めた荒尾駿河の名前をこの講演で初めて知る出席者が多かったと思いますが、浜崎さんご自身が、歴史の波間に長く沈んでいた荒尾駿河の墓碑を打吹山麓で発見されたのを機に、彼の生涯をクローズアップされました。詳細は 2 面の講演要旨をご覧ください。

物故者(金田治也さん(昭 30))に黙祷を捧げた後、総会では①2024 年度収支決算および②2025-26 年度役員が承認されました。

昨年までの総会・懇親会ではご来賓全員にご挨拶いただきましたが、会員相互の親睦を図る時間を長く取って欲しいとの意見が多数寄せられたため、今回は代表して、藤井武親・鴨水同窓会長(昭 49)、三谷徳彦・倉吉東高校長(昭 59)、広田一恭・倉吉市長(昭 52)のお三方にご挨拶いただきました。他には伊井野美雪・鳥取県関西本部副本部長、安田壽昭・大阪鳥取県人会長、倉都康行・東京鴨水会長(昭 49)、前田幸広・野球部後援会長(昭 57)、青目卓己・倉吉市経済観光部農林課長(昭 61)、岡野宏治・(株)新日本海新聞社大阪支社長にご来賓としてご出席いただきました。遠方より、またお忙しい中ありがとうございました。

みなさんお待ちかねの懇親会は、最年長の西村謙之助さん(昭 28)による乾杯のご発声に始まり、1 年ぶりの再会を喜び合う談笑の輪がまたたく間に広がりました。歓談の途中、三好修二さん(昭 36)特製の菜箸の抽選会は大いに盛り上がり、とても楽しいひと時を過ごすことができました。そして、三谷校長のリードにより全員で東高校歌を斉唱。最後は濱根準さん(昭 29)による中締めが行われ、来年 6 月 21 日(日)の再会を約して散会しました。

## ◆講演会:「荒尾駿河-墓碑の発見をきっかけに知った鳥取藩の戊辰戦争-」 浜崎尚文氏(昭和 51 年卒)

浜崎さんは 2023 年に勝入寺近くの墓地に荒尾駿河の墓碑を発見。  
それをきっかけに荒尾駿河(鳥取藩家老)及び鳥取藩の幕末を深く研究。  
その結果を鳥取歴史振興会にて発表されました。  
今般、当総会のためにさらにブラッシュアップして講演いただきました。  
要旨は以下の通りです。



### 鳥羽伏見の戦いで、鳥取藩は新政府軍(薩摩・長州側、以降官軍)として重要な役割を果たす 慶應 4 年1月3日(1868 年1月 27 日):官軍として参戦

京都に駐在していた鳥取藩は家老荒尾駿河の主導により、朝廷の意向に従って官軍に加わることをいち早く決断。鳥取藩主池田慶徳は將軍徳川慶喜の実兄であったため、藩内では出兵せずに様子を見るか官軍につくかで激論、荒尾駿河が勤皇の立場を貫き藩論を官軍につくことに統一。

將軍の兄である藩主を抱える鳥取藩としては非常に困難な決断、官軍にとって大きな意味。

### 慶應 4 年1月5日:千両松で旧幕府軍と交戦し大いに奮戦

大久保利通は薩摩藩島津久光側役に「鳥取藩は官軍に相違なく御坐候」と高く評価。

※余談:薩長因備(明治維新の通説では「薩長土肥(薩摩、長州、土佐、肥前)」が維新の立役者)

鳥羽伏見の戦いの段階では土佐藩は「薩長と徳川の私戦」と捉え中立。

肥前藩の参戦は江戸上野の戦いから。ゆえに、鳥取藩(因幡)と岡山藩(備前)の池田兄弟が將軍慶喜を見限り真っ先に薩長方に味方したことが、官軍勝利の大きな要因とされている。

このことから「薩長因備」という言葉で鳥取藩が語られることもある。

### 以降の鳥取藩:官軍として戊辰戦争に参加

北越戦争、宇都宮城の戦い、甲州勝沼の戦い、上野戦争など、各地を転戦。

特に宇都宮城の戦いでは因幡二十二士(テロ事件を起こした尊王攘夷派 22 名)のリーダーであった河田佐久馬が抜刀して敵陣に切り込んだ場面が絵図に。

### 鳥取藩の維新後:不本意な評価

鳥取藩は武芸を尊ぶ一方で、経済や文化への関心が二の次であったという見方もあり。

鳥羽伏見の戦いで官軍にいち早く加勢し維新の流れをつくったにもかかわらず、明治維新政府の官吏への採用がわずかに41名に留まるなど、その功績が十分に評価されなかったとの不本意な側面もあり。

まとめ:鳥取藩は鳥羽伏見の戦いにおいて新政府軍に早期に加わり戦闘でも活躍することで官軍勝利に大きく貢献。特に荒尾駿河の決断は、その後の鳥取藩の行動に大きな影響を与えた。

## ◆総会後に全員で記念撮影





## ◆懇親会

### ●乾杯前にテーブルごとに記念写真



来賓のみなさん



昭和 36 年卒のみなさん



来賓、昭和 28～30 年卒のみなさん



昭和 39・41 年卒のみなさん



昭和 40・43・47・49 年卒のみなさん



昭和 50・55 年、平成 4 年卒のみなさん



昭和 51・53 年卒のみなさん

### ●乾杯！：西村謙之助さん(昭和 28 年卒)



### ●最後に校歌合唱





みなさんから近況報告をいただきました（出欠連絡ハガキ、メールより）

|      |           |                                                                             |
|------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 卒年   | 氏名(旧姓)    | 近況報告(幹事への労いや退会・欠席連絡は紙面の都合上割愛しました)                                           |
| 昭和27 | 入江義雄      | 以前は副会長をしてましたが卒寿を越すと出ることが難しくなりました。ご盛会を！                                      |
| 昭和27 | 松本(斉木)美智子 | 満91歳、何とか元気です。終戦後中学校と女学校が合併して男女共学の倉吉高校となり、汚い東校舎で高校生活を楽しく過ごしたことを懐かしく思い出しています。 |
| 昭和30 | 牧田(芝野)幸恵  | パーキンソン病のせいで歩くのが大変。5月2日に主人に先立たれて寂しいです。                                       |
| 昭和33 | 枇杷紘一郎     | 元気に過ごしていますが外出するのが億劫になりました。母校を中心に関西在住者が集える場所は必要です。幹事の方大変ですがよろしくお願いします。       |
| 昭和35 | 岩村 功      | 相変わらず二人(81、84才)で病院通いです。                                                     |
| 昭和36 | 音田武敏      | 健康第一と信じて水泳・ゴルフ・散歩に心がけています。運転にも注意しながら実家まで4時間の月1回を実行。いつまで続けられるか？              |
| 昭和36 | 鳥越健治      | 83才となり体力も衰えて外出が億劫になりました。                                                    |
| 昭和37 | 山根敏彦      | 元気にしてます。                                                                    |
| 昭和37 | 河井昌治      | 長らく母校の情報等いただきありがとうございます。今後とも心はふるさとと共に過ごしていきたいと思います。                         |
| 昭和40 | 岩田幸夫      | 後期高齢者の年齢になりましたが現役で頑張っています。来年は出席したいです。                                       |
| 昭和41 | 久保田律子     | 役員の皆さまお世話ありがとうございます。メール案内で十分。これからもよろしく。                                     |
| 昭和43 | 岡本美都夫     | 最近は大ラントゴルフにはまって爺さん婆さんと楽しくプレーしてます。ご盛会を！                                      |
| 昭和43 | 加藤幸洋      | 兵庫県北部豊岡市出石町では5月は田植えの真っ最中、田んぼは緑の絨毯のようです。あちこちの人工巣塔でコウノトリの孵化が始まっています。          |
| 昭和43 | 衣笠陽一      | まだフルタイムで働いてます。                                                              |
| 昭和44 | 森 敏子      | 元気でおります。今回は都合がつかず出席を見合わせます。                                                 |
| 昭和45 | 山本公二      | 年金生活も10年を過ぎ、健康に配慮しながらボソボソと暮らしております。                                         |
| 昭和49 | 芦崎幸弘      | 鳥取市で単身赴任中。そろそろ卒業。時間のある時だけ県美ボランティアやっています。                                    |
| 昭和50 | 村岡 一      | 週3日勤務で仕事を楽しみながら続けています。4月から高齢者大学に入学しました。                                     |
| 昭和51 | 松田(山上)由美  | 相変わらず仕事漬け。役員、お役に立てるかわかりませんがよろしくお願いします。                                      |
| 昭和51 | 福原芳雄      | メール、Googleフォーム活用による効率化・費用削減は素晴らしい取り組みです。                                    |
| 昭和53 | 市橋清美      | 昨年11月よりタクシー乗務員に転身。今までのIT業界とは異なる楽しさがあり日々充実。                                  |
| 昭和53 | 高田正彦      | イオンでパートタイマーとして頑張ってます。出席したいです。末永くよろしく。                                       |

【1号議案】2024(令和6)年度 収支決算書

自 2024(令和6)年4月 1日 【2号議案】2025・2026年度 役員  
至 2025(令和7)年3月31日 敬称略 ※新任

| 項目          | 金額(円)   | 内 容     | 役職   | 氏名      | 卒年   |
|-------------|---------|---------|------|---------|------|
| 前年度繰越       | 586,940 |         | 会長   | 山本 康夫   | 昭和50 |
| 収入の部        | 年会費     | 232,000 | 副会長  | 堀尾 雅俊   | 昭和50 |
|             | 総会会費    | 315,000 |      | 陶山 哲也   | 昭和51 |
|             | 寄付      | 23,000  | 幹事   | ※松田 由美子 | 昭和51 |
|             | 雑収入     | 100     |      | ※市橋 清美  | 昭和53 |
|             | 計       | 570,100 |      | 安田 浩章   | 平成14 |
| 支出の部        | 会議費     | 310,300 | 会計幹事 | 原 長生    | 昭和41 |
|             | 通信費     | 53,164  |      | 木山 智道   | 昭和50 |
|             | 文具・事務費  | 1,400   | 会計監査 | 佐々木 進   | 昭和47 |
|             | 運営費     | 41,000  |      | 仲倉 由紀子  | 昭和47 |
|             | 印刷費     | 93,500  |      |         |      |
|             | その他     | 1,100   |      |         |      |
|             | 計       | 500,464 |      |         |      |
| 差引残高(次年度繰越) | 656,576 |         |      |         |      |

◆編集後記:様々なコストアップ要因(宴会費の1,000円アップや郵便料金のアップ等)を吸収するため、会報作成にも新たな試みに挑戦しました。役員のみで原稿を完成させ、印刷から納品までをプリントパックにWeb注文。その結果、来年の会費もキープできるめどが立ちました。これからも楽しい会になるように知恵を集め、心の若さを保って創意工夫していきたいと思います。(陶山哲也)